

## 保有企業数で見る「多株主」ランキング

順位	大株主名	保有金額	保有企業数	銘柄
1	内藤征吾	33億円	22	ディーエムエス、藤田エンジニアリング、遠藤製作所、こころネットほか
2	水元公仁	37億円	19	神田通信機、共同印刷、サクサホールディングス、タカノ、さくらケーシーエスほか
3	五味大輔	266億円	18	そーせいグループ、LIFULL、オイシックス・ラ・大地ほか
4	吉岡裕之	44億円	17	チャーム・ケア・コーポレーション、USEN-NEXT HOLDINGSほか
4	吉田知広	37億円	17	岩井コスモホールディングス、スペースバリューホールディングス、弘電社ほか
6	山下良久	13億円	14	オークファン、ファーストロジック、CEホールディングス、リーガル不動産ほか
7	若杉精三郎	7億円	13	丸千代山岡家、ジオルダン、ティーライフ、アプライド、アールエイジ、東武住販ほか
8	重田康光	707億円	12	光通信、ジャストシステム、大崎電気工業、建設技術研究所、前澤給装工業、日工ほか
8	岩崎泰次	44億円	12	世紀東急工業、フェローテックホールディングス、不動テトラ、ピーエス三菱ほか
10	山内正義	38億円	11	東京計器、飛鳥建設、宮地エンジニアリンググループ、若築建設、東洋電機製造ほか
11	吉川直樹	6億円	10	富士山マガジンサービス、シルバーエッグ・テクノロジー、リブセンス、駅探ほか
11	志野文哉	48億円	10	キリン堂ホールディングス、アメイズ、マーキュリアインベストメント、ライクキッズほか

### PART4

#### 22社で大株主となった「カリスマ投資家」も 兜町が注目する多株主たち

上場企業の有価証券報告書のなかで、筆頭株主から順に上位10人までが記載される「大株主」。

どこか1社の大株主になるだけでも巨額の資金が必要だが、10社以上の企業で大株主欄に名前を連ねる人々がいる。

株の保有企業数に基づく「多株主ランキング」が上掲の表。保有企業数22社でトップになったのは、個人投資家・内藤征吾氏だ。

資産形成・運用のカウンセリングを行なう株式会社ノークリーの代表ファイナンスプランナーの松澤健一郎氏が語る。

「1人で10社以上の大株主となった人のほとんどは、巨額の資金を長期投資する『個人投資家』です。なかでも内藤氏は兜町では知る人ぞ知る投資家で、彼が株を大量保有する企業は信頼できると評判になり、『内

藤銘柄」として投資基準のひとつになっていきます」

しかし、松澤氏もランキング上位の人物について「経歴などは分からない」という。

「市場への影響も大きく兜町も大物個人投資家の動向には注目していますが、基本的に表舞台に出てこないので情報が少ないのです」(同前)

#### 株を始めたのは「中学時代」

謎の投資家が集う中、その経歴が知られているのが、18社の大株主で保有金額ランキングでも124位にランクインした個人投資家の

五味大輔氏だ。兜町では「カリスマ投資家」として名を馳せる。

「本業を持ちながら投資活動を行なう兼業投資家であることをメディアで明かしています。中学生で株を始め、10年代に『ミクシィ』や創薬バイオベンチャー『そーせいグループ』の筆頭大株主になったことで一躍有名になりました。

五味氏は「プロとは戦うな」という名言を残しています。巨大ファンドと戦っても勝ち目はないので、個人でできることを最大限に生かして勝つという考えです。投資のセオリーとされる『分散投資』ではなく、狙いの銘柄に大量の資金を一気に投入する『集中投資』が彼のスタイルです」(同前)

